

英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	英語 002-72・002-82・002-92	A 4 486	令和6年
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 009-72・009-82・009-92	A 4 514	
15	三省堂	三省堂◆	英語 015-72・015-82・015-92	A 4 532	
17	教育出版	教 出◆	英語 017-72・017-82・017-92	A B 546	
38	光村図書出版	光 村◆	英語 038-72・038-82・038-92	A B 582	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	英語 061-72・061-82・061-92	A 4 490	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 英語(聴覚障害特別支援学校)

内容	発行者	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	27箇所 ①2年「ホームステイのお礼状」では、感謝の気持ちを手紙に書いて伝える活動を示している。(P57) ②該当なし	39箇所 ①1年「Action」では、かくし絵の中から、出題された物を見つけて個数を書く活動を示している。(P34) ②3年「Sign Languages, Not Just Gestures」では、日本とアメリカの手話について記述している。(P55-62)	19箇所 ①2年「Gifts from China」では、海外からの旅行者に紹介したい商品の説明を考える活動を示している。(P95) ②該当なし	33箇所 ①1年「My Favorite Things」では、自分の好きなものを、SNSの投稿記事にまとめる活動を示している。(P67) ②2年「Assistance Dogs」では、補助犬の紹介の中で聴導犬について記述している。(P16-18)	27箇所 ①2年「Daily Life」では、オンラインツアーの案内を読み、参加したツアーを友達と考える活動を示している。(P88-89) ②2年「You Can Do It!」では、手話も国や地域によって異なることについて記述している。(P87)	15箇所 ①3年「英語の学び方」では、英文を書く上でのコツとして、伝えたい内容を図に書き出す活動を示している。(P76) ②該当なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①音声聞き分けて答える活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②電話やインタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に配慮が必要であるもの。	60箇所 ①3年「テレビの国際ニュース」では、英語のニュース番組を聞いて内容を聞き取り、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P85) ②1年「An Online Tour of the U.K.」では、ペアになった相手に電話で状況を尋ねる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P83)	67箇所 ①1年「インタビューを聞こう」では、ラジオのインタビュー番組を聞き、設問に答える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P122) ②2年「電話をかけよう」では、ペアになった相手に、電話で情報を伝える活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P50)	76箇所 ①3年「バスのアナウンス」では、観光バス車内のアナウンスから必要な情報を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P53) ②3年「電話でのお誘い」では、ペアになった相手に、電話でコンサートに誘う活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P14)	89箇所 ①1年「School Life in Two Countries」では、絵の中にあるものの名前を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P83) ②3年「Useful Expressions①」では、ペアになった相手を、電話で映画に誘う活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P22)	107箇所 ①2年「Daily Life」では、空港や航空機内でのアナウンスから必要な情報を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P40) ②3年「Our School Trip」では、ペアになった相手からの誘いの電話を断る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P21)	121箇所 ①2年「Preparing for Natural Disasters」では、ラジオ番組から防災バックに入れる物を聞き取る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P57) ②1年「お願い」では、ペアになった相手に、電話で宿題の手伝いを依頼する活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P121)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①2年「History of Clocks」では、時代とともに進化してきた時間の計測方法を、イラストや写真により視覚的に説明している。(P44-47) ②パートごとに、表現や文法のポイントを背景に色を着けて記している。(1年P12など)	①2年「Apollo 13」では、アポロ13号の構造や事故が発生した箇所を、解説を添えたイラストにより、視覚的に説明している。(P125) ②各章の冒頭に、学習課題を背景に色を着けて記している。(1年P21など)	①2年「Language Focus7」では、前置詞の種類と使い方を、イラストを用いた図により、視覚的に説明している。(P96) ②パートごとに、表現や文法のポイントを、枠囲みで記している。(1年P26など)	①2年「Six Amazing Things about Penguins」では、ペンギンの身体の構造などを写真や図により、視覚的に説明している。(P47-49) ②パートごとに、本文の読解のポイントを、Checkと見出しを付して記している。(2年P16-17など)	①1年「Active Grammar 1」では、肯定文、疑問文などにおける主語、動詞、助動詞の語順を、色分けして視覚的に説明している。(P56-57) ②パートごとに、学習する基本的な文と解説を、枠囲みで記している。(1年P29など)	①2年「道案内」では、位置を表す表現を、例文とともに、色分けした図で視覚的に説明している。(P61) ②パートごとに、文法のポイントを背景に色を着けて記している。(1年P12など)
参考	防災や自然災害の扱い オリンピック・パラリンピックの扱い	あり あり	あり あり	あり あり	あり あり	あり あり	あり あり

中学部 英語(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
41箇所		41箇所	34箇所	41箇所	30箇所	42箇所	49箇所
内容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①生活に結び付く身近な内容など、生徒がイメージしやすい題材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	①1年「Hello, Everyone!」では、クラスメートに自己紹介をする活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P11-17) ②2年「What design is good for everyone?」では、肢体不自由者であるロナルド・メイス氏について記述している。(P64)	①2年「Leave Only Footprints」では、修学旅行のルールを考える活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P59) ②3年「パラリンピック、ここに注目!」では、バラスポーツ独自の競技のルールや特徴について記述している。(P40-41)	①3年「For Our Future」では、中学校生活の思い出や卒業後について考える活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P95-99) ②1年「Athletes with Spirit」では、車いすバスケットボールの選手について記述している。(P91-95)	①1年「Useful Expressions 1」では、ペアを組んで校舎内を案内する活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P97) ②2年「Design Makes Change」では、駅のホームと車両乗降口の隙間を狭くする工夫について記述している。(P39)	①1年「Here We Go!」では、自己紹介について考える活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P26-35) ②1年「Hi, David!」では、登場人物が車いすテニスに取り組んでいることについて記述している。(P72-79)	①2年「Let's Listen 1」では、天気予報について必要な情報を聞き取る活動があり、学習の内容がイメージしやすい。(P16) ②3年「Society for All」では、車いすの方がバスに乗り込む写真とともにユニバーサルデザインについて記述している。(P61)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。 ②発音練習等の、音声の違いを的確に表現する活動があり、学習時に配慮が必要となるもの。	①1年「Grammar For Communication 0」では、巻末の語順カードを並べて、さまざまな文を作る活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P10) ②1年「Sounds and Letters 1」では、母音を正しく発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P18)	①1年「発表上手になろう」では、相手に伝えたいことをジェスチャーで表現する活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P28) ②1年「英語の音声」では、舌の位置に注意して発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P152)	①1年「単語の意味の調べ方」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P33) ②1年「Sounds」では、母音や子音を意識して発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(資料10-11)	①1年「辞書の使い方」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P19) ②1年「効果的な英語学習法」では、和製英語と英語の違いに注意して発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P152)	①2年「You Can Do It!②」では、さまざまな手話について記述しており、取り扱う際には配慮が必要である。(P87) ②1年「Sounds and Letters」では、母音の音の違いに注意して、声に出して読む活動があり、学習時に配慮が必要である。(P24)	①1年「英語の学び方①」では、英和辞典を使って単語の意味を調べる活動があり、取り扱う際には配慮が必要である。(P29) ②1年「英語の学び方②」では、母音が入らないように連続して子音を発音する活動があり、学習時に配慮が必要である。(P100)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①各単元の冒頭に、学習の目標を枠囲みで記している。(3年P9など) ②2年「What are World Heritage sites and their problems?」では、富士山が抱える問題や現在の状況を写真で示した上で、世界遺産について考えるようにしている。(P89-96)	①各単元の冒頭に学習課題、最後に文法のまとめを記している。(1年P21、P27など) ②3年「The Great Pacific Garbage Patch」では、海洋ごみの写真を示した上で、生物に与える影響について考えるようにしている。(P79-87)	①各単元の重要表現を枠囲みで記している。(1年P26など) ②1年「Emergency Food」では、非常食の写真やイラストを示した上で、災害への備えについて考えるようにしている。(P117-123)	①各単元に達成度を確認できる課題を記している。(1年P29など) ②2年「Design Makes Change」では、ユニバーサルデザインの自動販売機などの写真を示した上で、便利なデザインについて考えるようにしている。(P33-40)	①各単元の冒頭に学習課題、最後に学習の振り返りを記している。(3年P9、P17など) ②2年「How Do We Stay Safe?」では、非常用持出品の写真を示した上で、災害時に必要な物について考えるようにしている。(P59-67)	①各単元の冒頭に学習課題、最後に学習の振り返りを記している。(2年P5、P14など) ②3年「Living Side by Side」では、シカの踏切や魚道などの写真を示した上で、野生動物の保護について考えるようにしている。(P31-40)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり

ア デジタル教科書の扱い

発行者	取り上げられた単元名（学年）	a 拡大機能	b 音声機能 ※ 1	c 動画機能 ※ 2	d 書き込み機能	e 保存機能	備考
東 書	Unit 2 What is local food?	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ※ 3 ・ 読み上げ機能有 ※ 4 ・ デジタル用例辞典収録
開隆堂	PROGRAM 3 Taste of Culture	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ・ 読み上げ機能有
三省堂	Lesson 5 Visiting Australia	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ・ 読み上げ機能有 ・ 辞書機能有
教 出	Lesson 3 Design Makes Change	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ・ 読み上げ機能有 ・ 録音・再生機能有 ※ 5
光 村	Unit 7 Working Together	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ・ 読み上げ機能有 ・ 録音・再生機能有
啓林館	Unit 2 Festivals in the World	有	有	有	有	有	・ 単語・文の個別再生機能有 ・ 読み上げ機能有

※ 1 「b 音声機能」では、教科書の本文や活動例、歌やチャンツ等の音声を聞くことが可能かを調査している。

※ 2 「c 動画機能」では、活動例や学習の参考となる情報を、アニメーションや実写映像等で視聴することが可能かを調査している。

※ 3 「単語・文の個別再生機能」とは、教科書に記載されている英語の単語や文を個別に選択（タッチ）すると、その単語・文のみを再生する機能である。

※ 4 「読み上げ機能」とは、教科書に記載されている文章（日本語、英語を含む。）を、音声で読み上げる機能のことである。

※ 5 「録音・再生機能」とは、児童が自分の音声を録音・再生することができる機能のことである。